

ペレニアルライグラス奨励品種「ヤツカゼ2」

畜産試験場

1 取り上げた理由

採草・放牧兼用及び放牧草地用牧草として平成22年春から流通開始されるペレニアルライグラスの中生品種「ヤツカゼ2」において、品種登録前の宮城県畜産試験場における検定試験の成績から高位生産が期待できると認められたので、普及技術とする。

2 普及技術

「ヤツカゼ2」の品種特性は以下のとおりである

- 1) 早晩生の区分としては中生。
- 2) 元奨励品種「ヤツカゼ」（種子供給終了に伴い平成21年次に奨励品種から廃止）と比較して、春期～秋期のいずれの季節においても乾物収量がやや多収。（表3）
- 3) 元奨励品種「ヤツカゼ」と比較して、1年目に対する3年目の収量比（表3）や3年目の秋の被度（表1）がやや高いことから、持続性に優れている。

3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については牧草・飼料作物（県奨励品種）の栽培の手引を基本とすること。
- 2) 採草・放牧兼用あるいは放牧用として利用できる。
- 3) 播種翌年の春は旺盛な生育を示すので、採草・放牧利用の場合は1番草の刈り遅れに注意し、放牧利用の場合は春先の放牧開始を早めに行う。



図1 ペレニアルライグラス「ヤツカゼ2」

（問い合わせ先：畜産試験場草地飼料部 電話：0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

牧草系統適応性検定試験（平成13年度～16年度）

2) 参考データ

表1 生育特性

品種名	発芽 良否 (注1)	出穂始 (月日)	越夏性 (注1)	秋の 被度 (%)	刈取後草勢(注1) (各番草平均)			越冬前草勢(注1)		
					H14	H15	H16	H14	H15	平均
ヤツカゼ2	5.0	5/14	3.3	50	4.6	5.3	3.7	4.0	5.5	4.8
ヤツカゼ(標準品種)	5.8	5/14	3.0	46	4.6	5.0	3.3	4.8	4.8	4.8

(注1) 発芽の良否・越夏性・各草勢の評価法：極良を9，極不良を1とする評価法

表2 季節別収穫時草丈及び乾物率

品種名	草 丈 (3年間平均, cm)			乾 物 率 (3年間平均, %)			
	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	季節平均
ヤツカゼ2	44.4	39.3	38.5	18.8	19.9	21.6	20.1
ヤツカゼ(標準品種)	42.5	39.2	38.5	18.9	20.3	20.8	20.0

※春期：4～6月収穫番草の平均，夏期：7～9月中旬収穫番草の平均，秋期：9月下旬以降収穫番草の平均

表3 年度別及び季節別乾物収量

	年次別合計乾物収量(kg/a)					季節別乾物収量 (3年間平均 kg/a)		
	H14	H15	H16	計	H16/H14	春期	夏期	秋期
ヤツカゼ2	145.8	138.9	93.1	377.8	63.9	86.7	27.8	11.7
(対標準品種比)	(102)	(104)	(109)	(104)	(108)	(104)	(103)	(110)
ヤツカゼ(標準品種)	143.7	134.0	85.3	363.0	59.4	83.4	27.0	10.6

※()内は標準品種(ヤツカゼ)を100とした値。

※刈取回数：H14：4/17～10/18に9回，H15：4/28～10/27に6回，H16：5/19～10/19に4回

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 山梨県酪農試験場